

## 山形県金融経済概況

### 1. 全体感

山形県の景気は、緩やかに拡大している。

最終需要の動向をみると、公共投資は弱めの動きとなっているものの、設備投資は増加している。個人消費は底堅く推移しており、住宅投資は一進一退の状況にある。

生産は緩やかに増加している。雇用・所得環境は着実に改善している。消費者物価（生鮮食品を除く総合）は前年を上回った。

### 2. 需要項目別の動向

#### (1) 公共投資・・・弱めの動き

11月の公共工事請負金額は、県は増加したものの、国、市町村などが減少したため、全体では3か月連続で前年を下回った（前年比▲27.6%）。

（図表1）公共工事請負金額 前年比、%

	2016年 12月	2017年 3月	6月	2017年 9月	10月	11月
山形県	96.6	91.7	▲2.2	▲3.7	▲9.4	p▲27.6

＜資料＞東日本建設業保証(株)

（注）pは速報値、rは前回公表から掲載計数を改訂したもの（以下同じ）。

#### (2) 設備投資・・・増加

10月の建築着工床面積（民間非居住用）は、製造業、卸・小売などは増加したものの、教育・学習支援、電気・ガスなどが減少したため、全体では3か月ぶりに前年の水準を下回った（前年比▲12.4%）。12月短観における2017年度の設備投資計画（全産業）は、非製造業で上方修正され、2年連続で増加する計画（前年度比44.8%＜前回調査比修正率+1.1%＞）。

（図表2）建築着工床面積（民間非居住用） 前年比、%

	2016年 12月	2017年 3月	6月	2017年 8月	9月	10月
山形県	47.1	▲37.3	▲32.8	9.3	14.7	▲12.4

＜資料＞国土交通省

（図表3）県内企業の設備投資額（2017年12月山形短観） 前年度比、%

山形県	2015年度（実績）	2016年度（実績）	2017年度（計画）
全産業	▲9.8	24.6	44.8< 1.1>
製造業	▲22.3	28.8	66.9<▲0.8>
非製造業	12.1	19.5	16.1< 4.8>

＜資料＞日本銀行山形事務所

（ ）内は前回調査比修正率、%

### (3) 個人消費 …… 底堅く推移

10月の百貨店・スーパー販売（既存店ベース）は、衣料品などが前年を下回ったことから、全体では2か月ぶりに前年の水準を下回った（前年比▲0.7%）。

家電販売は、AV家電などが減少したことから、前年の水準を下回った。

(図表4) 百貨店・スーパー販売 前年比、%

山形県	2017年 1~3月	4~6月	7~9月	2017年 8月	9月	10月
全店	▲1.8	0.6	1.3	0.1	2.1	1.1
既存店	▲1.6	▲1.4	▲0.5	▲1.6	0.2	▲0.7

〈資料〉経済産業省

11月の乗用車の新車登録台数（含む軽乗用車）は、14か月ぶりに前年の水準を下回った（前年比▲6.5%）。

(図表5) 乗用車新車登録台数 前年比、%

山形県	2016年 12月	2017年 3月	6月	2017年 9月	10月	11月
乗用車 (含む軽)	18.6	7.5	17.9	11.9	0.2	p ▲6.5
乗用車 (除く軽)	16.3	12.6	11.2	5.8	1.7	p ▲6.7

〈資料〉東北運輸局

(注)速報値（含む軽乗用車）には、乗用車以外の軽自動車も含む。

### (4) 住宅投資 …… 一進一退

10月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲とも減少したため、全体では3か月ぶりに前年の水準を下回った（前年比▲17.6%）。

(図表6) 新設住宅着工戸数 前年比、%

	2016年 12月	2017年 3月	6月	2017年 8月	9月	10月
山形県	6.2	▲20.1	19.6	14.3	19.0	▲17.6
持家	30.1	▲6.3	▲1.5	▲1.4	25.7	▲6.3
貸家	▲14.6	▲54.8	61.2	31.6	5.4	▲25.2
分譲	23.3	▲8.5	19.6	70.0	46.7	▲23.2

〈資料〉国土交通省

### 3. 生産・・・緩やかに増加

9月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、2か月連続で上昇した（前月比3.0%）。業種別には、電子部品・デバイス、金属製品など14業種は低下したものの、化学、はん用・生産用・業務用機械など8業種は上昇した。

9月の在庫指数（季節調整済）は、4か月ぶりに上昇した（前月比1.1%）。

（図表7）鉱工業指数

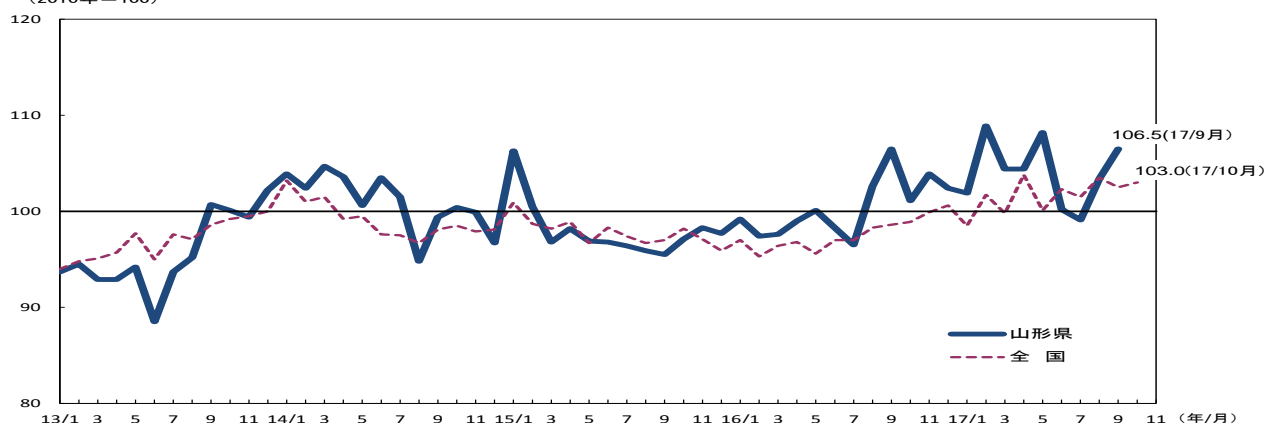
2010年基準

山形県		2016年 12月	2017年 3月	6月	2017年 7月	8月	9月
生 産	季節調整済前月比%	▲1.4	▲4.1	▲7.4	▲1.1	4.3	p 3.0
	原指数前年比%	3.8	6.9	1.8	2.7	0.7	p ▲0.4
在 庫	季節調整済前月比%	1.2	0.1	▲1.4	▲1.3	▲2.2	p 1.1
	原指数前年比%	2.7	2.6	9.5	6.9	3.0	p 6.2

〈資料〉山形県企画振興部

（図表8）鉱工業生産指数（季節調整済）の推移

（2010年=100）



〈資料〉経済産業省、山形県企画振興部

### 4. 雇用・所得環境・・・着実に改善

10月の有効求人倍率は、1.60倍となった。業種別には、宿泊・飲食、建設の新規求人は減少したものの、サービス、製造業などは増加した。10月の雇用保険受給者は、18か月連続で前年の水準を下回った（前年比▲11.4%）。

（図表9）雇用関係指標（その1）

倍、%、〈〉内は前年比

山形県	2017年 1～3月	4～6月	7～9月	2017年 8月	9月	10月
有効求人倍率	1.42	1.52	1.57	1.55	1.60	1.60
有効求職者数	〈▲7.3〉	〈▲7.6〉	〈▲6.7〉	〈▲6.7〉	〈▲6.7〉	〈▲6.3〉
有効求人数	〈6.2〉	〈8.9〉	〈11.0〉	〈11.0〉	〈11.0〉	〈10.2〉
完全失業率	2.1	2.0	2.0	—	—	—
雇用保険受給者	〈▲12.5〉	〈▲14.4〉	〈▲15.9〉	〈▲16.7〉	〈▲15.9〉	〈▲11.4〉

〈資料〉厚生労働省、総務省、山形労働局

（注）有効求職者数、有効求人数、雇用保険受給者の四半期データは、各四半期末の水準。

9月の常用雇用指数は、6か月連続で前年の水準を上回った（前年比0.7%）。業種別には、製造業、運輸などは前年の水準を下回ったものの、卸・小売、宿泊・飲食などは前年の水準を上回った。

9月の所定外労働時間は、3か月連続で前年の水準を上回った（前年比3.3%）。業種別には、医療・福祉、宿泊・飲食などは前年の水準を下回ったものの、製造業、サービスなどは前年の水準を上回った。

(図表10) 雇用関係指標 (その2) 2015年基準、事業所規模5人以上、前年比、%

山形県	2016年 12月	2017年 3月	6月	2017年 7月	8月	9月
常用雇用指数	0.8	0.0	0.7	1.0	0.7	0.7
所定外労働時間	▲6.1	▲4.2	▲0.6	2.4	5.5	3.3

〈資料〉山形県企画振興部

(注) 2016年12月以前は2010年基準の前年比を掲載。

9月の現金給与総額(名目賃金指数)は、医療・福祉、建設などは減少したものの、製造業、生活関連サービスなどは増加したため、2か月連続で前年の水準を上回った（前年比0.9%）。

9月のきまって支給する給与は、6か月連続で前年の水準を上回った(前年比1.6%)。

(図表11) 所得関係指標 2015年基準、事業所規模5人以上、前年比、%

山形県	2016年 12月	2017年 3月	6月	2017年 7月	8月	9月
現金給与総額 (名目賃金指数)	0.1	▲2.4	▲0.4	▲0.6	1.2	0.9
きまって支給 する給与	▲1.4	▲1.3	0.5	1.6	1.2	1.6

〈資料〉山形県企画振興部

(注) 2016年12月以前は2010年基準の前年比を掲載。

## 5. 企業倒産・・・落ち着いた動き

11月の企業倒産(負債額10百万円以上)は、件数(3件)、負債総額(1.2億円)とも低水準ながら前年(2件、1.1億円)を上回った。

(図表12) 企業倒産 件、億円

山形県	2016年 12月	2017年 3月	6月	2017年 9月	10月	11月
件数	2	4	1	4	4	3
負債総額	32.5	4.2	0.4	2.5	3.9	1.2

〈資料〉(株)東京商工リサーチ

## 6. 物価・・・前年を上回った

10月の消費者物価指数(山形市、生鮮食品を除く総合)は、前年を上回った(前年比1.2%)。費目の内訳をみると、住居、家具・家事用品は前年を下回ったものの、光熱・水道、生鮮食品を除く食料などは前年を上回った。

(図表13) 消費者物価指数

2015年基準、前年比、%

山形市	2016年 12月	2017年 3月	6月	2017年 8月	9月	10月
総合	0.3	0.8	0.9	1.2	0.9	0.6
生鮮食品を除く総合	▲0.1	0.9	0.6	1.0	0.8	1.2

<資料>山形県企画振興部

## 7. 金融

10月の県内預金(銀行+信用金庫)は、法人預金を中心に前年の水準を上回った(前年比1.0%)。

10月の県内貸出(銀行+信用金庫)は、個人向けが住宅ローンを中心に堅調に推移したほか、企業向けも増加したため、全体では前年の水準を上回った(前年比1.9%)。

この間、10月の貸出金利は低下した(前月比▲0.004%ポイント)。

(図表14) 預金、貸出金

%

山形県	2016年 12月	2017年 3月	6月	2017年 8月	9月	10月
実質預金+CD (末残前年比)	0.9	1.0	1.1	1.2	1.2	1.0
貸出金 (末残前年比)	2.8	2.4	2.0	2.2	1.7	1.9

<資料>日本銀行山形事務所

- (注)・国内銀行(ゆうちょ銀行を除く)、信用金庫の県内全店舗を集計。  
 ・銀行勘定(国内銀行についてはオフショア勘定を除く)を集計。  
 ・実質預金とは、表面預金から未決済の小切手・手形を引いたもの。  
 ・貸出金については、中央政府向け貸出を除く。  
 ・合併・新規出店、撤退等による残高調整は行っていない。

(図表15) 貸出約定平均金利

%ポイント

山形県	2017年 1~3月	4~6月	7~9月	2017年 8月	9月	10月
貸出約定平均金利 (総合、ストックベース、月・期中変化幅)	▲0.013	▲0.016	▲0.010	▲0.002	▲0.004	▲0.004

10月末水準  
1.054%

<資料>日本銀行山形事務所

- (注)山形県内に本店を置く地銀・地銀Ⅱの貸出金利(銀行勘定の円貸出のうち、金融機関向け貸出を除いたもの)を貸出金残高(同)で加重平均したもの。

以上

(内容に関するお問い合わせ先)  
 日本銀行山形事務所  
 TEL: 023-622-4004